



内閣府
沖縄総合事務局

記者発表資料

沖総局・白熱教室開催 ～技術者の卵に老朽化補修工事の最前線で講義～

- 今回の講義（見学会）は、琉球大学の学生に、老朽化した施設の対策現場を見てもらい、社会資本の老朽化に対する理解を深めてもらうとともに、元祖さながらの熱い議論をつくすことを目的に企画しました。なお、琉球大学工学部環境建設工学科の学生35名程度参加予定です。
- 県内の道路インフラは1972年の本土復帰後、沖縄振興開発計画により集中的に整備されてきました。本土復帰から42年目を迎える今、当時整備された道路インフラの老朽化が問題となってきています。
- 国道58号安里川に架かる泊高橋は、道路幅員方向に分割された3橋梁（山側部、中央部、海側部）で構成されます。中央部は、昭和27年（1952年）に米軍により架設された鋼桁橋で、架設後62年経過しています（山側部、海側部は昭和49年度に架設）。平成9年度と平成18年度に補修工事が行われていますが、今回は中央部の床版の劣化が著しいため、床版の打替え工事を行うものです（次ページ図参照）。

講義概要

1. 教室名 泊高橋（とまりたかはし）老朽化補修現場
2. 講義名 社会資本老朽化対策の最前線について
3. 講義内容 ①日頃、講義で学んでいる理論が、実践でどのように活用されているかを老朽化補修工事の最前線の現場で学んでもらう。
②その際、単なる工事説明にとどめるのではなく、インタラクティブなディスカッションを通じて本質の理解に迫る。
4. 講師 沖縄総合事務局南部国道事務所与那原維持出張所長他
5. 開講日時 平成26年10月23日（木）15時～16時15分
6. 集合場所 とまりん広場（次ページ図参照）

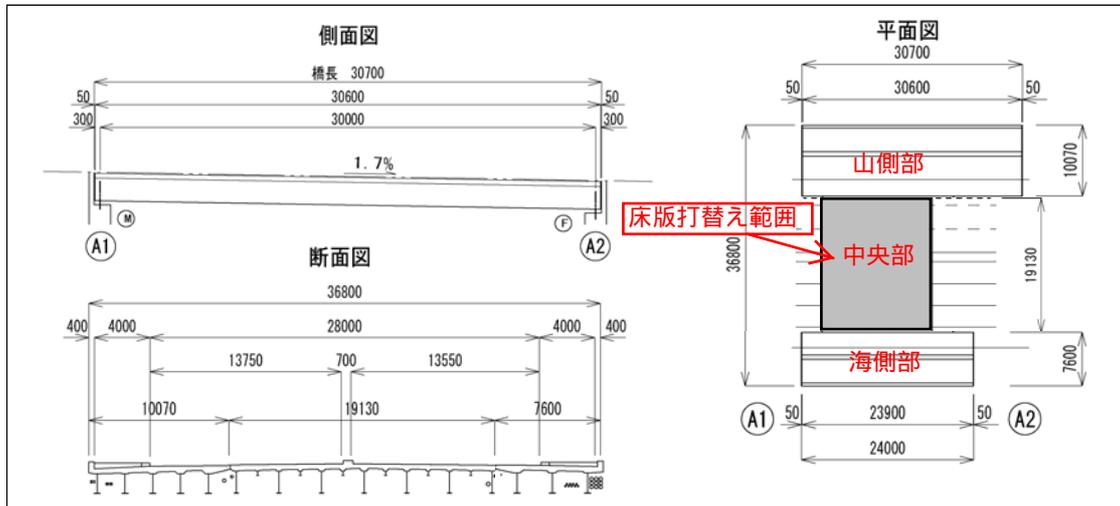
問い合わせ先

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課
道路保全企画官 當山 全浩（とうやま ぜんこう）
課長補佐 下地 博明（しもじ ひろあき）
電話番号 098-866-1915

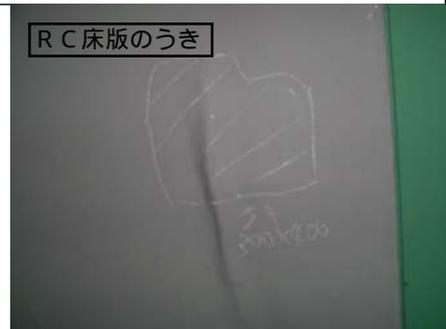
位置図・集合場所



橋面写真



側面写真



R C 床版のうき



桁下写真



R C 床版鉄筋腐食状況

工事名：平成25年度泊高橋補修工事

工事概要

本工事は床版の老朽化に伴い、既設床版を撤去しプレキャスト合成床版(SW床版)に取替える工事である。

